

口腔科学研究科

徳島大学大学院口腔科学研究科における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

口腔科学研究科では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した歯科医学と口腔保健学の知識と技術を継承するとともに、学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を育成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

【博士前期課程】

口腔保健学専攻博士前期課程では、口腔保健に関する専門的知識・技能および科学的探究心に加え、豊かな人間性や倫理観を身につけた次世代の歯科衛生士教育を担う教育研究者、または健康長寿社会の実現に貢献する高度専門職業人を養成するため、次のような人材を求めています。

●求める人物像

- ・ 学士で得た基本的な教養、専門科目の基礎学力およびコミュニケーション能力を有し、口腔保健学への深い関心をもって教育・研究分野での活躍を目指す人
- ・ 保健・医療・福祉分野に従事する専門家に求められる思考力・判断力に加え、生命の尊厳を尊重し、豊かな人間性の醸成を目指す人
- ・ 保健・医療・福祉の現場において、指導的役割を果たす意欲をもつ高度専門職業人として多職種と協働し貢献しようとする人

【博士後期課程及び博士課程】

口腔科学専攻博士課程及び口腔保健学専攻博士後期課程では、口腔科学、口腔保健学ならびに隣接する分野に関する学術の理論および応用を教授研究し、幅広い科的基盤をもち、かつ専門性にも秀でた、教育・研究・臨床ならびに歯科行政などの分野で指導的役割を担う人材ならびに高度専門職業人を養成するため、次のような人物を求めています。

●求める人物像

- ・ 口腔科学に関する高度な専門的知識・技能と、隣接する分野にわたる広い視野を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は専門医等の資格取得につながる卓越した能力を修得しようとする人
- ・ 高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力を備え、地域保健医療と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・ 高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、他分野とも協働して高度専門分野を開拓・牽引しようとする人

口腔科学研究科（博士前期課程）口腔保健学専攻【修士（口腔保健学）】

徳島大学大学院口腔科学研究科における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

口腔保健学専攻では、長寿福祉口腔保健学の分野で活躍できる人材の育成を目指しています。口腔保健に関する専門的知識・技能および科学的探究心に加え、豊かな人間性や倫理観を身につけた次世代の歯科衛生士教育を担う教育研究者、または健康長寿社会の実現に貢献する高度専門職業人を養成するため、課題に対して自ら進んで取り組む主体性や社会での協働性をもった次のような人材を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

学士で得た基本的な教養、専門科目の基礎学力およびコミュニケーション能力を有し、口腔保健学への深い関心をもって教育・研究分野での活躍を目指す人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

保健・医療・福祉分野に従事する専門家に求められる思考力・判断力に加え、生命の尊厳を尊重し、豊かな人間性の醸成を目指す人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

保健・医療・福祉の現場において、指導的役割を果たす意欲をもつ高度専門職業人として多職種と協働し貢献しようとする人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

学力試験の「専門科目」では、人体と口腔の構造と機能、歯・口腔の健康と予防に関わる人間の社会の仕組み、臨床歯科医学、歯科予防処置、歯科保健指導など口腔保健学に関する「知識・技能」「思考力・判断力」を、また「英語」では口腔保健学全般にわたる英文情報に関する「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。

面接では、専門知識についての試問試験を含め、口腔保健学への「関心・意欲」「表現力」「態度・協働性」を総合的に評価します。

<外国人留学生特別入試>

英語での学習を希望する外国人に向け、筆記試験（専門科目・語学）と面接を英語によって実施します。評価の基準は一般入試と同じです。

口腔科学研究科（博士後期課程）口腔保健学専攻【博士（口腔保健学）】【博士（学術）】

徳島大学大学院口腔科学研究科における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

口腔保健学専攻では、長寿福祉口腔保健学の分野で活躍できる人材の育成を目指しています。口腔保健に関する専門的知識・技能および科学的探究心に加え、豊かな人間性や倫理観を身につけた次世代の歯科衛生士教育を担う教育研究者、または健康長寿社会の実現に貢献する高度専門職業人を養成するため、課題に対して自ら進んで取り組む主体性や社会での協働性をもった次のような人材を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

博士前期課程で培った研究活動を遂行する上で必要な専門分野の学力やコミュニケーション能力を有し、長寿福祉口腔保健学に対する深い関心を持って教育・研究分野での活躍を目指す人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

豊かな人間性と生命倫理の尊重に加え、口腔保健・栄養・社会福祉に関する卓越した思考力・判断力を身につけ、指導的役割を担う高度専門職業人をを目指す人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

我が国の口腔保健・栄養・社会福祉分野での卓越した研究手法を修得し、その成果をアジア諸国においても展開するなど、関係する人々と協働して長寿福祉口腔保健学の発展を志す人

●入学者選抜の基本方針

＜一般入試＞

学力試験の「専門科目」では、長寿福祉口腔保健学に関する「知識・技能」「思考力・判断力」を、また「英語」では長寿福祉口腔保健学などの英文情報に関する「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。

面接では、専門知識についての試問試験を含め、長寿福祉口腔保健学への「関心・意欲」「表現力」「態度・協働性」を総合的に評価します。

＜英語プログラム（私費）外国人留学生入試＞

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・理解力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

＜英語プログラム（国費）外国人留学生入試＞

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・理解力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

口腔科学研究科（博士課程）口腔科学専攻【博士（歯学）】

徳島大学大学院口腔科学研究科における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

口腔科学専攻では、口腔科学ならびに隣接する分野に関する学術の理論および応用を教授研究し、幅広い科学的基盤をもち、かつ専門性にも秀でた、教育・研究・臨床ならびに歯科行政などの分野で指導的役割を担う人材の養成を目指しています。そのために、次のような人物を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

口腔科学に関する興味と情熱に溢れ、歯学科課程（6年制）で修得すべきレベルの口腔科学および歯科臨床についての高度な専門的知識と技能を有し、これをさらに磨くことにより後進を指導する能力を身につけ、口腔科学の進歩と社会的課題の解決に意欲を燃やす人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

生命倫理を尊重し、論理的思考と科学的根拠に基づく歯科医療の開発と実践を志す人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

自立して社会や地域の問題に向き合い、その課題解決のために他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展に貢献しようとする人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

個別学力検査では、主として専門分野に係る語学力を含めた知識・技能を評価します。「専門科目」試験では、人体と口腔の構造・機能、歯と口腔の健康と疾患発症に関する生命科学、臨床歯科医学に関する歯学科課程（6年制）で修得するレベルの専門的な問題とします。「英語」試験では、一般医学・歯学の全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。

面接では、専門知識と技能に関する試問試験を含め、歯学・口腔科学への関心・意欲、思考力・判断力・表現力、倫理観、主体性、協働性を総合的に評価します。

<社会人特別入試>

社会の現場で活躍している開業医及び勤務医、大学院修士課程修了後、研究又は医療業務などに従事している社会人等に対し、リカレント教育の門戸を開く目的で、入学時の学力試験を免除した特別入試を実施します。面接では、専門知識と技能に関する試問試験を含め、先端の歯学・口腔科学への強い関心・学習意欲と合わせて、思考力・判断力・表現力、倫理観、主体性、協働性を総合的に評価します。入学後、在学中に語学試験（英語）に合格することが要求されます。

<外国人留学生特別入試>

英語での学習を希望する外国人に向け、筆記試験（専門科目・語学）と面接を英語によって実施します。評価の基準は一般入試と同じです。

<英語プログラム（国費）外国人留学生入試>

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・理解力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

<英語プログラム（私費）外国人留学生入試>

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・理解力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

口腔科学研究科（博士課程）口腔科学専攻【博士（学術）】

徳島大学大学院口腔科学研究科における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

口腔科学専攻では、口腔科学ならびに隣接する分野に関する学術の理論および応用を教授研究し、幅広い科学的基盤をもち、かつ専門性にも秀でた、教育・研究・臨床ならびに歯科行政などの分野で指導的役割を担う人材の養成を目指しています。そのために、次のような人物を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

口腔科学に関する興味と情熱に溢れ、歯学科課程（6年制）で修得すべきレベルの口腔科学および歯科臨床についての高度な専門的知識と技能を有し、これをさらに磨くことにより後進を指導する能力を身につけ、口腔科学の進歩と社会的課題の解決に意欲を燃やす人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

生命倫理を尊重し、論理的思考と科学的根拠に基づく歯科医療の開発と実践を志す人

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

自立して社会や地域の問題に向き合い、その課題解決のために他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展に貢献しようとする人

●入学者選抜の基本方針

<一般入試>

個別学力検査では、主として専門分野に係る語学力を含めた知識・技能を評価します。

「専門科目」試験では、人体と口腔の構造・機能、歯と口腔の健康と疾患発症に関する生命科学、臨床歯科医学に関する歯学科課程（6年制）で修得するレベルの専門的な問題とします。

「英語」試験では、一般医学・歯学の全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。

面接では、専門知識と技能に関する試問試験を含め、歯学・口腔科学への関心・意欲、思考力・判断力・表現力、倫理観、主体性、協働性を総合的に評価します。

<外国人留学生特別入試>

英語での学習を希望する外国人に向け、筆記試験（専門科目・語学）と面接を英語によって実施します。評価の基準は一般入試と同じです。

<英語プログラム（国費）外国人留学生入試>

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・理解力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。採用は徳島大学からの推薦に基づき文部科学省が決定します。

<英語プログラム（私費）外国人留学生入試>

書類審査及びインターネットインタビューによる面接では、英語の読解力・理解力、専門分野に関する知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。